

事業名 「南中ソーラン」の感動を広め明るいまちづくり

実施主体 古志原ドリーム会

県担当課 青少年家庭課・警察本部

事業の成果

事業の目的 [文化教育]

- 「南中ソーラン」の踊りに取り組み、この感動を地域や地域の子供達に伝え、又、松江市青少年支援センターと連携して様々な問題を抱える子供達の支援活動を行い、明るく活力のあるまちづくりを推進していく。

事業の内容

- 小中学校・地域団体で、南中ソーラン踊りの指導を行い、親・子・教員との交流を図り地域の活性化を図った。
- 地域活動やイベント等に参画し、地域の活性化を図り明るいまちづくりを推進した。
- 南中ソーラン踊りを通じた様々な問題を抱える子供たちに対する立ち直り支援活動を行った。



目的の達成状況 [概ね達成できた]

- 青少年フォーラム in しまねに向けて、法被の購入、子供達への南中ソーランの指導ができた。

反省点・改善点

- 子供達の時間に合わせた練習時間、場所の工夫(毎週木曜の夜8時から練習しているものの、夜の学校に行っている人・車の便のない人の送り迎えの工夫)

(改善内容)

日曜に個人練習を行った。

## 協働の効果

### 県との協働内容 [ 協働して実施した ]

- 様々な問題を抱えている子どもたちを支援している青少年支援センターと連携することにより、活躍の場を見いだせた。
- 青少年育成島根県民会議と協働し、11月に青少年フォーラム in しまねに参加し、古志原ドリーム会の活動報告と踊りを行った。

### 県との協働効果 [ 十分効果があった ]

- 青少年フォーラム in しまねという目標に向けて、ドリーム会が協力して参加できたこと。多くの人と交流が出来たこと。

### 県への要望事項

- 県として、島根づくりをどう考えているか、実施団体に任せきりになっていないか。もっと現場に足を運び、共に課題を共有して進めていかないと真の島根づくりに結びつかないのではないでしょうか。

### 反省点・改善点

- 県側へもっと早い段階での提案、協働推進の提案があれば、良い進め方が出来ていたと思われる。

### 市町村との協働

- 青少年支援センターと協働し、様々な問題を抱える子ども達の支援活動を行った。

## 事業の継続

### 事業成果の活用 [ 活用されている ]

- 補助金により購入した法被を着用してイベントに参加している。
- 青少年支援センターから子どもを受け入れている。

### 事業の継続状況 [ 助成を受けて継続実施している ]

- 南中ソーランの踊りは確かに子どもたちに活力と生きがいを与えてきた。
- 仕事をしながらの活動でありボランティア活動であるため、時間の制約もあり全員が持ち回りで分担を決め、指導を行っている。

### 協働による発展 [ 協働により発展できる ]

- 今後の青少年の支援をさらに活性化させるためにはもっと対応力のある団体にしていく必要があり、このためには、今以上に行政に理解を求め、地域団体と行政がしっかりと手を組んで推進していく必要がある。

今後も青少年支援センター等と連携して進めていきたい。

